

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援すてら		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20家庭	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2026年2月26日		～ 2026年3月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づく支援の質の高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを定期更新だけでなく日常的な観察や保護者との対話から実施 ・支援会議や日々の情報共有により職員間の共通理解を徹底 ・個別支援と集団活動を組み合わせた柔軟な支援提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質の均一化を図るための記録様式や評価基準の整理 ・外部研修や専門的助言の導入による支援力の底上げ ・アセスメント精度向上のためのツール活用の検討
2	保護者との信頼関係および情報共有体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡ツールを活用した日常的な情報共有 ・定期的な面談および随時相談対応の実施 ・保護者の意向を踏まえた支援計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTツールの活用による情報共有の効率化と質の向上 ・保護者向けフィードバック内容の標準化 ・保護者同士の交流機会の創出による間接的支援の強化
3	限られた環境における柔軟な支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や人数に応じた空間の使い分け ・時間帯調整による活動スペースの確保 ・視覚的支援や環境調整による構造化の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な環境構成に向けたレイアウトの定期的見直し ・安全面および活動面の両立を図る環境改善 ・設備・備品の計画的整備

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置に対する負担感	<ul style="list-style-type: none"> ・集団療育を中心とした支援形態により、一時的に職員負担が偏る場面がある ・勤務形態の違い(時短勤務等)により振り返り時間の確保が難しい ・利用児の特性に応じた個別対応の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置および役割分担の見直し ・業務の効率化および記録・共有方法の改善 ・振り返り時間の確保および代替手段(ICT等)の導入
2	地域交流および保護者同士の交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育業務を優先する中で、交流機会の企画・実施に十分なリソースを割けていない ・保護者ニーズの把握が限定的であり、具体的な機会設定に反映しきれていない ・交流機会の実施目的や方法が明確化・体系化されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な保護者交流の場の段階的实施 ・保護者ニーズの把握(アンケート等)の強化 ・地域資源との連携による交流機会の創出
3	安全対策および非常時対応に関する保護者への周知不足	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル整備や訓練は実施しているが、保護者への発信が限定的 ・説明機会が契約時等に偏っている ・情報発信方法が統一されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報発信(おたより・掲示・ICT活用)の実施 ・訓練実施状況の見える化 ・保護者への説明機会の複線化(面談・資料配布等)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援すてら					公表日	2026年3月30日			
						利用児童数	20家庭	回収数	9名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2	0	0	お部屋の中で沢山身体を動かしていただいているようです。	室内でものびのびと身体を動かせるよう、活動内容や人数に応じた環境設定や時間の工夫を行っています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	1	保護者は入り口までしかまぼ入らず、教室内の細かい設備配置などがわからないので、わからないと回答しました。	教室内の状況が伝わりにくい点を踏まえ、分かりやすい情報提供に努めてまいります。今後も環境構成の工夫を継続してまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0	この半年で、コミュニケーションの幅が広がったと実感しています。	成長を実感いただけていることを励みに、今後も特性に応じた支援の充実と質の向上に努めてまいります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2	0	0	毎日の通園ではないのでなんとも言えませんが、写真を見る限り様々な活動をさせていただいていると思います。	活動内容が固定化しないよう工夫しながら支援を行っております。今後も活動の充実を図るとともに、取り組みの内容がより分かりやすく伝わるよう努めてまいります。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	1	5				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1	0	0	妻が対応してくれまして、恐縮ですがわかりかねます。	ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。支援内容については、ご家庭内での共有も含め分かりやすく伝わるよう、今後も説明の工夫に努めてまいります。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	0	0				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	お願いすれば時間をとっていただけるので、非常に助かっております。	必要に応じてご相談いただけていることを嬉しく思います。今後もご相談しやすい環境づくりを大切に、継続的な支援の充実に努めてまいります。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	1	3				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	2	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	2	0	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0	行けばどの先生も優しく勉強を楽しんでいるようなのですが、まだ慣れていないせいか積極的には行きたくありません。	安心して過ごせる環境づくりを大切にしながら、徐々に慣れていけるよう支援を行ってまいります。今後もお子さまのペースに寄り添い、通所が楽しみにつながるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	家や一人では学べない、教えることが出来ないことを、楽しく学べているのでとても助かっています。毎回その日にやったことなどをアナログではなくアプリで情報を送ってもらえるのもとても助かります。支援に感謝満足しています。	温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も、お子さま一人ひとりに応じた支援の質の向上と、情報共有の充実を図り、より安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援すてら				公表日 2026年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	工夫として、集団療育の活動時間と少人数の個別療育時間を同じ時間帯にする事で、室内でも運動などの体を動かすスペースを十分に確保できるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		1日を通して集団で療育を行っている為、配置が足りないと思う事がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	生活空間がワンフロアの為、構造化することが難しい環境だが、スケジュールなどの視覚化は出来ている。 扉の上部に鍵をつけて事故防止を行い、吊り戸棚を使って収納をしているところ。 収納が難しいものには布を被せて情報量を減らしているところ。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除はもちろん次亜塩素酸を使った消毒や失禁時の対応の徹底。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	別室を使った少人数の療育が出来ている点や午睡の個別対応または少数対応を別室で出来ている点が工夫していると思う。 子や環境など場面に応じて部屋を使い分けているところ。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝礼や日頃の勤務時に情報共有や話し合いをしているところ。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	イベント後のアンケートを活用しているところ。 アンケートなどを通じて出された意見を出来るだけ反映させている	保護者向け評価表未実施のため。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に一回スタッフ会を行い、職員全員で振り返りを行なっている。 職員会議のみならず、日頃の業務の中で細かく情報共有しているところ。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	昨年開所事業所のためこれからはあるが、職員間での確認など密に行っているところ。	外部評価未実施のため。 開所1年未満の為、未実施。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修の案内や個人で見つけた研修などを共有しているところ。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	個別支援計画書や専門的支援実施計画書に応じて場所や活動内容を変えて行っているところ。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	更新のためのアセスメントだけではなく日頃の会話や面談を通して細かな計画を作れるところ。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	検討会議以外の場面でも個々の様子や変化、成長を共有しているところ。 話し合いの時間を設け、検討が行われている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	事前の実施案を共有しているところ。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	更新・改善される前段階で共有されるところ。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	直接支援以外も積極的に取り組んでいるところ。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	担当を決めて随時考案、実施しているところ。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎週活動を考える人を変える事で、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。 意見や考えを随時出してより良い支援にしているところ。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別支援計画書更新まで待たずに現状の課題や支援内容について話し合い、実施するところ。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	工夫として毎日朝礼を行い、支援や児童の情報共有を行っている。 朝礼以外にも時間を見つけて情報共有や活動内容の検討をしているところ。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	その日のうちに話し合い次回の支援に活かす内容を話すところ。	改善点として支援後だと時短スタッフとの振り返りが難しい為、別途振り返りができる時間があると良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ダブルチェックで漏れがないようにしているところ。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	送迎の際や面談などを通して細やかな対応をしているところ。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	状況によっては参画が難しいが情報共有がしっかりできているところ。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	連携の必要性を説明した上で保護者に確認をとって連携をするところ。 利用者の状況に合わせて、必要な関係機関と連携を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	入園、就学などに向けた情報共有を図っているところ。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	今年度は就学する利用者が居ないが就学に向けた連携をとっているところ。	就学移行の児がいない為 就学の児童がまだいないため。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	1		連携は積極的に図っているが、スーパーバイズや助言を受ける機会はこのところ特に設けていない。今後必要に応じて対応していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	積極的に連携を図り継続的に情報共有を図っているところ。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	定期的な子育てサポートや家族支援などを行っているところ。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	定期的にスケジュールを組んでいるところ。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学、契約、面談、送迎時など状況に応じて行っているところ。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	日々の支援の記録以外にも成長や見立てを話し合っているところ。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	見学時や契約前に伝えているところ。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談カードやLINEなど様々なツールを使って相談しやすい環境を整えているところ。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会は実施していないが話せる環境を整えているところ。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談カードなどを活用しているところ。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月に一回ドキュメンテーションをホームページで掲示している。また、日々の記録として連絡帳を使用し、保護者に児童の成長を伝えている。アンケートや要望に対応しているところ。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	迅速に対応・共有しているところ。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	朝礼や日々の支援などを使って共有しているところ。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	相談支援事業所の紹介や他事業との連携などを図っているところ。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	朝礼や職員会議などを使って密な確認をしているところ。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	朝礼や職員会議などを使って密な確認をしているところ。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に書類を活用して共有・把握しているところ。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に書類を活用して共有・把握しているところ。	アレルギー対象者がいない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	研修、共有を経て支援に配慮されているところ。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	契約時に書類を活用して共有・把握しているところ。	家族への周知が不足している面が見られる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット報告書、朝礼などを用いて迅速な共有と今後の対策を講じているところ。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修、日々の会話の中で意識し合っているところ。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	日々の保護者対応の中で信頼関係を築き、非常時の対応に繋げているところ。		